

令和7年度 第4回 下阿多古小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年2月12日（木） 13時30分から16時00分まで
- 2 開催場所 下阿多古小学校 1階会議室
- 3 出席委員 新井 恵美子、 大栗 智恵、 内山 達也、 武田 あゆみ、 大石 見無雄、  
高林 政三、 梅林 正行、 佐藤 聖徳
- 4 欠席委員 出野 光雄
- 5 オブザーバー 野沢 和好（下阿多古ふれあいセンター）、
- 6 学 校 木下 栄二（校長）、 藤岡 政哉（教頭）、 沖 みどり（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 沖 みどり
- 9 議長の選出

内山会長が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）学校関係者評価について
- （2）次年度の学校運営の基本方針について
- （3）学校運営協議会委員の自己評価について
- （4）夢育やらまいかCS加算分の報告

11 会議記録

司会の藤岡教頭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校関係者評価について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき学校関係者評価について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・先生側から見た同じ項目のアンケート結果はないのか。先生方が子供に対し、家庭に対し、どう思われているか知りたい。（武田委員）
- 3つをリンクさせることで、資質の向上につながると思う。来年度、検討したい。（校長）
- ・道徳や生活習慣は、基本的には家庭での教育であると思う。もっと家庭への働きかけが必要ではないか。（高林委員）
- 家庭の役割も重要だと感じている。状況に応じて協力を仰いでいこうと思う。（校長）
- ・「読書・学習習慣」の割合が低い。書く力、読む力の低下が心配である。（高林委員）
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」の割合も気になる場所である。家庭での環境に左右され、親としての行動が子供に影響を与えていると考える。親自身が自覚を持ち、生活習慣の見直しをする必要があると思う。（佐藤委員）
- ・「先生が相談にのってくれる」の項目に、「思わない」と回答した子が心配である。少数でも、そのような子を救う体制を整えてほしい。（野沢オブザーバー）
- すでに把握しており、小さな変化も見逃さず手立てを講じていく。（校長）

## (2) 次年度の学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき次年度の学校運営の基本方針について説明があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

## (3) 学校運営協議会委員の自己評価について

議長の指示により、会長から、別紙資料に基づき学校運営協議会委員の自己評価について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

### 【評価項目1】について

- ・よくできたと思う。発足4年目となり、協議会として、より子供たちのために、地域のためにと、協働して活動していく意味の大切さを、熟議を通して話し合うことができた。(武田委員)
- ・できなかったと思う。学校運営の基本方針は、なんとか理解できる。ただ、世代が大きく離れ、個人的な認識のズレを縮めるだけで終わってしまった。(大石委員)

### 【評価項目2】について

- ・よくできたと思う。地域で子供たちが減少している現実を再認識し、PTAの地域分担等にも触れ、今後の運営の道筋を感じる事ができた。(佐藤委員)

### 【評価項目3】について

- ・充分に行った。コミ・スクだよりやホームページ、学校だより等での発信は充実していたと感じる。(新井委員)
- ・行った。発信はできていたが、まだまだ保護者や地域全体への理解や認識には繋がっていないと思う。(大栗委員)

### 【評価項目4】について

- ・今までの協議会で熟議された活動を推し進め、さらに地域との繋がりを強めていく。(梅林副会長)
- ・地域学校協働活動として、無理なく持続可能な支援の形を再構築し、大人も子供もふるさとを愛する心を成熟していける熟議を活発に行う。(武田委員)

## (4) 夢育やらまいかCS加算分の報告

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき夢育やらまいかCS加算分についての報告があり、活動内容の確認をした。

### その他報告事項等

司会から、新年度第1回の会議は、令和8年4月17日(金)13時30分から1階会議室で開催する旨の報告があった。